

東京大学医学部附属病院女性診療科・産科にて

妊娠分娩管理、産褥管理を受けられた妊産婦さんおよびそのご家族の方への

お知らせ

当院では、「妊娠・分娩・産褥の生理と病理に関する後方視的研究」（審査番号：3053）を行っています。

この研究の対象者に該当する可能性がある方で、

- 診療情報等を研究目的に利用または提出されることを希望されない場合
- 研究への協力を希望されない場合、あるいは協力を途中でおやめになりたい場合は分娩後 6 か月以内を目安に）末尾に記載の問い合わせ先までご連絡ください。

【研究課題】

「妊娠・分娩・産褥の生理と病理に関する後方視的研究」（審査番号：3053）

【研究機関名及び本学の研究責任者氏名】

この研究が行われる研究機関と研究責任者は次に示すとおりです。

研究機関 東京大学医学部附属病院 女性診療科・産科
研究責任者 入山 高行 女性診療科・産科 講師
担当業務 研究実施の統括

【研究期間】

本研究は長期にわたる研究を計画しています。記載の研究期間終了後も継続する場合は、研究期間延長の申請を行う予定です。

【対象となる方】

1945年1月1日～2025年5月31日の間に東京大学医学部附属病院女性診療科産科にて、妊娠や出産に対する診療を受けられた方全て。

【研究の意義】

当院で管理された妊娠分娩に関する臨床情報を解析することで、妊娠中の母体胎児の生理機能・胎児胎盤機能の評価・分娩に及ぼす影響などを解明する。

【研究の目的】

当院での妊娠分娩管理をする女性と胎児の臨床情報を後方視的に解析することで、周産期医学における新たな知見を得る。

【研究の方法】

この研究は、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に則り、東京大学

医学部倫理委員会の承認のうえ実施されます。後方視的な診療録調査で、妊娠・分娩・産褥の生理と病態、診断法、管理法、治療法とその結果（予後）を解析します。新たな人体試料は採取致しません。

この研究は、東京大学医学部倫理委員会の承認を受け、東京大学医学部附属病院長の許可を受けて実施するものです。

これまでの診療でカルテに記録されている血液検査や尿検査結果、画像検査、病理検査などのデータ（研究利用する試料・情報の項目をご記載ください）を収集して行う研究です。特に患者さんに新たにご負担いただくことはありません。

【個人情報の保護】

収集したデータは厳重な管理のもと、研究終了後 5 年間保存されます。個人が判別できない状況で研究を行いますので、患者さんの個人状況が公表されたり、外部に漏れたりすることはありません。

この研究のためにご自分（あるいはご家族）のデータを使用してほしくない場合は主治医にお伝えいただくか、下記の問い合わせ先にご出産後 6 か月以内を目安にご連絡ください。研究に参加いただけない場合でも、将来にわたって不利益が生じることはありません。

ご連絡をいただかなかった場合、ご了承いただいたものとさせていただきます。

研究の成果は、あなたの氏名等の個人情報が明らかにならないようにした上で、学会発表や学術雑誌、国内及び海外のデータベース等で公表します。

収集したデータは厳重な管理のもと、研究終了後5年間保存されます。保管期間終了後には、保存したデータを消去することで廃棄します。なお研究データを統計データとしてまとめたものについてはお問い合わせがあれば開示いたしますので下記までご連絡ください。

本研究に関して、開示すべき利益相反関係はありません。

この研究について、わからないことや聞きたいこと、何か心配なことがありましたら、お気軽に下記の連絡先までお問い合わせください。

2023 年 1 月

【問い合わせ、苦情等の連絡先】

東京大学医学部附属病院女性診療科産科

住所：東京都文京区本郷 7 - 3 - 1

電話：03-3815-5411（内線 33407） FAX：03-3816-2017

Eメールでのお問い合わせ：iriyamat-gyn@h.u-tokyo.ac.jp

医療機関名 東京大学医学部附属病院

診療科名 女性診療科産科 研究責任者名 入山 高行